

2023年2月8日

電気通信大学  
学長 田野 俊一 殿

## 団体交渉の申入れ

電気通信大学教職員組合  
委員長 山本野人

下記の項目による団体交渉の設定をお願いします。

なお、団体交渉についての連絡は、教職員組合事務室（内線：5027  
e-mail:voice@uec-union.org）までお願いします。

記

### 団体交渉項目

1. 定年年齢の引き上げ
2. 事務系非常勤職員の更新上限見直しに関する状況の確認
3. 技師の業務評価と待遇

以上

## 【要求内容説明】

### 1. 定年年齢の引き上げ

年金制度の改革や働き方改革が求められる中、定年年齢の引き上げが行われています。国家公務員においても、人事院が 2018 年に定年を段階的に引き上げるための意見申し出をだし、一昨年(2021(R3)年)の通常国会で審議され法改正がされました。その結果 2023(R5)年度に 60 歳に達するものから定年が段階的に引き上げられ、2031 年度には 65 歳定年となります。

このような中で、教職員組合にも今後のワークライフでの定年の扱いについて心配する声が寄せられています。国家公務員は来年度からの定年年齢引き上げが実施されますが、これまでのところ大学から定年年齢の引き上げについての考え方が示されていません。国家公務員と同様の定年延長の実施を要求します。

なお、既に全国の大学、高専からは国家公務員と同様に定年延長するとの連絡が入っています。

### 2. 事務系非常勤職員の更新上限見直しに関する状況の確認

- ・現時点における対象者数・申請者数・申請して却下された者の数などの数値データ
- ・現状に対する役員会等での意見を踏まえた大学側の認識
- ・更新対象者以外の非常勤事務員に対する「査定」の実施方針について確認したい。

### 3. 技師の業務評価と待遇 (2022. 11. 18 提出済)

#### 1. 業務評価の適正化

2017(H29)年 9 月 21 日付け団体交渉申し入れ(教育研究技師部の業務評価についての改善)に対し、2018(H30)年 3 月 22 日の交渉において文書で提出された回答(田中勝己理事)では、音声記録の提出がなければ交渉に応じなというということであった。しかし 2022 年 3 月 30 日の交渉では、大学側は業務評価と待遇について引き続き交渉をしていきたいとの回答が得られた。この回答について組合は、これまでの大学側の対立的な姿勢から誠実に交渉に対応する姿勢として、これまでの問題点はありつつも高く評価するものです。

#### 2. 業務評価の正常化

2017(H29)年 2 月 23 日の団体交渉申し入れ(教育研究技師部の業務評価について)に対し、同年 3 月 28 日の三橋理事からのメールによる回答文書では、「結果として同室の業務を担当した技師の評価が行われていなかった例もあります」とし、業務評価に問題があったと認めています。しかし、2018(H30)年 3 月 22 日の交渉において文書で提出された回答(田中勝己理事)では、「それ以前にそもそも業務評価シートが適切に書かれておらず、評価者であった実験実習支援センター副センター長の指示にも従っていないので、業務評価のやり直しなど検討に値しない」とし、業務評価を行っていないことについての正面からの回答を避けています。それまでの三橋理事の真摯な回答を翻し、理由にならないことを挙げ対立を醸し出しており、このような評価者の姿勢は問題であると組合は受け止めております。大学側の対応についてどのようにお考えですか。

#### 3. 異議申し立てへの対応の改善

2017 年 9 月 21 日の付団体交渉申し入れ(異議申し立てへの対応の改善)についての 2018 年 3 月 22 日の交渉においての文書回答(田中勝己理事)では、「技術部にそのまま伝える」とのことでした。2018 年 9 月 28 日の交渉では、技師部の対応について「特に反応がない」との回答でした。改めて誠意のある回答を求めます。

以上